

地域住宅生産者グループ No.308

自立再建支援KENプロジェクト

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
地震に強くて暖かい家	陸前高田市

グループの特徴とメッセージ

KENプロジェクトは、一日でも早い住まいの再建を目指す人を応援いたします。安心して暮らせる住宅は生活の基盤です。

KENプロジェクトは、地権者から土地の情報をいただいております。土地情報や宅地造成から御提案する事ができます。

KENプロジェクトは、「地震に強く暖かい家」を目指します。

グループの基本情報

グループ名称	自立再建支援 KENプロジェクト
所在地	岩手県陸前高田市竹駒町字 相川 144-6
結成年月	2012年3月
グループ形態	任意団体
主たる業態	設計事務所
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 22 社 原木供給 : 2 社 製材 : 3 社 建材流通 : 2 社 プレカット : 1 社 設計 : 2 社 施工 : 6 社 造成工事 : 3 社 その他 : 3 社
代表者名	及川賢治 (KEN設計代表)
主な受賞歴・ 活動内容等	被災者を対象としてファイナンシャルプランナーによる生活設計支援、一級建築士による地震に強く暖かい家を目指した住宅無料相談

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000~1,500万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	60戸	
うち地域材活用の住宅	40戸	
うち長期優良住宅	10戸	
グループとしての 施工実績	なし	戸 (なし⇒空欄)
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	30戸	
自由記入欄 (上記以外の実績等)	耐震補強・断熱改修等リフォーム工事を30戸程度受注 (年間)	

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	及川 賢治	メール	fbmdy179@yahoo.co.jp
電話番号	0192-54-2522	FAX	0192-47-3172
ホームページ			
自由記入欄			

地震に強く暖かい家

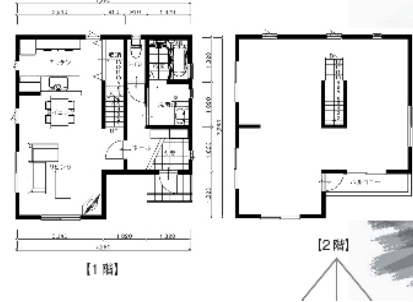
地域型復興住宅のイメージと特徴

■強く優しい夢のある家。

3月11日に襲った大地震と想像を絶する津波は、わたしたちの故郷の風景を一変させてしまいました。しかし、じっとしているわけにはいきません。時は刻々と流れ、私たちの次の世代の時代が待ったなしで訪れます。家づくりに関わる人間として、故郷の復興のために今できる最善のことをやりたい、と思います。

家族の幸せを支える、もっとも身近な存在である家を、激しい地震や津波にも耐えられる強さに生まれ変わらせた。災害への強さと、人間と地球環境への優しさをハイレベルで身につけた家を目指したい。シンプルで美しいデザイン性と、リーズナブルな価格体系を実現しています。

強く優しい性能を備えた美しい家を、故郷に共に暮らす皆さまの安心と幸福な人生のために力を尽くしたい。それがKENプロジェクトの願いです。



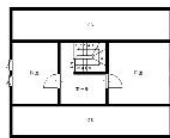
大屋根 type

耐震等級3を確保し、2階にゆとりを持たせた大屋根タイプ。
2階のゆとり空間を住まい方に合わせて活用でき、和室のニーズにも対応可能です。

【南玄関タイプ】 □1F床面積 64.59㎡(19.54坪) □2F床面積 33.12㎡(10.02坪) ■延床面積 97.71㎡(29.56坪)



【1階】



【2階】

【北玄関タイプ】



【東西玄関タイプ】



※2階プランは玄関方向が異なっても共通です。

代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：46.37㎡ 2階：46.37㎡
設計	KEN設計	施工	
施工費	1,260万円（設計費用は除く）	備考	計画中

設計方法や地域材活用に関する特徴

■間取り変更できる家

・耐震性を確保しつつ、オープンプランを実現しています。耐震性を確保されたオープンプランに、「間仕切りシステム」部材を配置して、最適な住まい方と間取りをつくることができます。また、将来のライフステージの変化に合わせて、空間を自由に育てていくこともできます。

■CO₂の削減に植林木の使用

・森林経営や製品づくりを通じて森林保全を目指し、自然環境を守る。

徹底した木材管理と先進技術により、高品質で人に優しく快適な製品をお届けいたします。

【住まい方①】



最低限の個室で、
目が届く子育てスタイル。

【住まい方②】



子供に、それぞれの個室を
与えて、自立心を養う。

【住まい方③】



子供室の確保配慮プラン

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■省エネな家

・住まいの省エネルギー性に配慮し、サッシや断熱材等は一定の性能を確保したものを使用しています。これにより、地球にも家庭にもやさしい家づくりを実現しています。

これからはますます節電や省エネが求められ、最高等級4の家ならば、エコな暮らしも実現可能になります。



■地震に強い家

極めて稀に発生する地震に対し、日本住宅性能表示基準耐震等級2以上の基準となっています。

2階建て以下の木造建築物に関する基準

- ・軸組の確認：存在壁量が等級に応じた必要壁量を超えていること。
- ・耐力壁線の確認：耐力壁線間隔が基準値以内であること。
- ・床組等の確認：床組、小屋組及び屋根面の存在床倍率が必要床倍率を超えていること。
- ・接合部の確認：胴差と通し柱の接合方法が基準に適合していること。及び床等の外周部の存在接合部倍率が必要接合部倍率に適合していること。
- ・横架材及び基礎の確認：鉛直荷重に対して横架材及び基礎が、水平荷重に対して基礎が適切設計されていること。

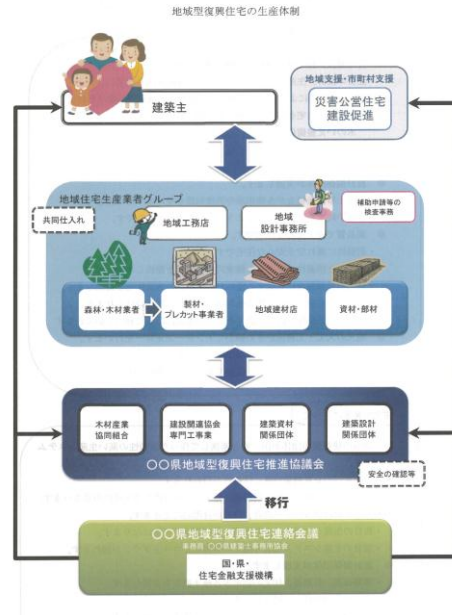
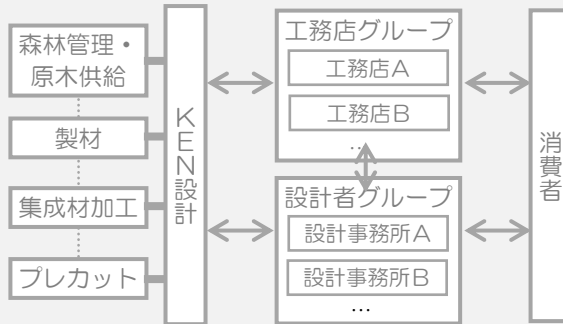
地域住宅生産者グループ 自立再建支援KENプロジェクト

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■地域型復興住宅設計と生産システムを活用した家づくり

・KENプロジェクトは地域型復興住宅の生産・供給を担う大工・工務店、設計事務所、林業者・製材業者等で作るグループを形成し、地域材を用いた良質低廉な木造住宅の生産体制を構築しています。

自立再建支援KENプロジェクトの体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■地元に着した相談所

・KEN設計が相談窓口となり皆さまのご相談をお受けいたします。土地の相談(宅地建物取引主任者・KEN不動産)、住まいの相談(一級建築士)、資金計画(ファイナンシャルプランナー)まで一貫したご相談に応じます。

■長持ちする家

メンテナンスしやすい家づくり

構造躯体に比べて耐用年数が短い内装・設備について、清掃・点検・更新などの維持管理が容易におこなえるように配慮し、メンテナンスしやすい家づくりを実現しています。

住まい手参加の維持管理

住まいの部位ごとに、将来を見据えた定期的な点検・補修等を計画し、住まいを長持ちさせることを意識した計画を策定しています。

将来を見据えた住まいカルテ

住まいを長く住み継ぐためには、最初に丈夫な家を作るだけでなく、点検や修繕の記録を残すことも大切です。住宅履歴情報を蓄積する仕組みを用意しています。